

秋田県校友会第36回同窓生の集い

平成24年7月29日（日）秋田市中通の秋田ビューホテルにおいて、「第36回同窓生の集い」が大学本部から茅沼秀樹先生にご出席いただき、県内同窓生20名が参加して開催されました。秋田県では、昭和57年から卒業した学部学科に関係なく、交流の場として「秋田県校友会」と称し同窓生の集いを開催しております

総会は、この1年間の物故者に対する黙祷の後、菅原芳孝会長（S48年卒）のあいさつに始まり、平成23年度会務報告及び決算報告、平成24年度事業計画及び収支予算案、会則の一部改正について審議され、満場一致で原案どおり承認された。また、役員改選（任期2年）が行われ、会長、副会長、事務局の再任が承認された。

研修会では3題の発表があり、県畜産試験場の千田惣浩会員（S59年卒）から「秋田県の種雄牛造成事業とスーパーサイヤー（義平福号）について」、県健康環境センター柴田義明会員から「秋田県内の環境放射能について」、由利本荘市の開業、小野郁男会員から「当院における膀胱腫瘍について」と題して畜産・環境・臨床のそれぞれの分野から発表が行われ、活発な意見交換が行われた。

講話では、茅沼先生から大学の近況や同窓会の現況について詳細なお話をいただき、大学の資料を見ながら施設・設備の充実ぶり、最近の学生たちの真面目さに参加者一同感心していた様子であった。

懇親会では、佐藤林治相談役（S41年卒）の乾杯で始まり、和やかな雰囲気の中で学生時代の昔話に花を咲かせ、同窓会の活性化や将来展望について、日頃の仕事の情報交換等で話が弾んだ。中締めを鈴木敏規副会長（S46年卒）、原田誠三郎副会長（S45年卒）にお願いし、会場を変えての二次会にも多くの参加者が出席。にぎやかな時間を過ごし、来年度の再会を期し懇親会を終了した。

最後に、大変お忙しい中ご出席いただいた茅沼先生に感謝申し上げますとともに、同窓会の益々の発展を祈念し報告といたします。

（事務局 蒔苗 修 S54年卒）